#2 エエもんエエとこ出会い隊！

エエもんにはエエ話がついてくる。女2人・編集部よしみんとエッセイ漫画家の都あきこが、阪神間のエエもんを求めてまちを歩く企画！
今回は芦屋駅南側エリアでエエもんエエ話いただいてきました！

編集/吉見梨恵　漫画/都あきこ

エエもんエエとこ出会い隊の紹介

編集部チーフ よしみん

阪神間の街歩き企画をかれこれ約10年担当。「この角を曲がれば良い店がありそう！」という鍛えられた嗅覚で、様々なステキなショップに出会い、突撃取材することもしばしば。

エッセイ漫画家 都あきこ

誰かに会いたい。話したい。人好き行動派漫画家は今日も出会いを求めて東奔西走！特技は二日酔いをヨガで治すこと。
http://miyakoakiko.oops.jp/

EVIAN COFFEE SHOP（エビアンコーヒーショップ）

芦屋市茶屋之町11-8
営/9時～18時
月曜定休、不定休あり
TEL.0797-22-7079
http://www.ashiya-evian-coffee-shop.com/

1967年、芦屋に誕生した自家焙煎・サイフォン式コーヒー店「ASHIYA EVIAN COFFEE SHOP」。2010年に現在の場所に移転し、アンテナショップとして豆の販売（100g400円～）や淹れたての美味しいコーヒーを提供する。またテイクアウトも可能で、気軽に立ち寄れるので幅広い層に支持されている。

La Ruche（ラルーシュ）living & flowers

芦屋市業平町2-14-101
営/10時～19時　日曜定休
TEL.0797-25-9815
https://www.facebook.com/lovelaruche/

日常的にお花を取り入れてもらいたいと、生活雑貨と組み合わせた提案を行うフラワーショップ。ふわっと漂う花の良い香りに癒されながら、花を飾る器やテーブルウェア、季節のアイテムなども選べる。2月にはラナンキュラスやチューリップなど春の花が入荷予定で、さらに店内が華やかな香りに包まれるそう。

毎日焙煎しているので、新鮮なコーヒー豆から丁寧に一杯ずつ入れてます！

エビアンウイスキーコーヒー

マスターが「どこにもないようなコーヒーを作りたい」と長年構想していた新たなコーヒーがこの1月にいよいよ誕生！

「エビアンウイスキーコーヒー」（1杯800円）

コーヒー豆をウイスキーに漬け込んだ型破りな製法で生まれた香りが際立つ大人の味わいをぜひ！（豆の購入はネット販売のみ）

なんとコーヒーを飲みながら周辺のお店で購入したパンやスイーツも持込み可能！コーヒーは350円～。

テイクアウトOK!

子どもの時から珈琲の焙煎の香りをかいで育ったマスターの神山さん。大学生の時に、姉妹店にあたる神戸元町の『エビアン』にて修業し孫弟子として珈琲の勉強をしたのだそう。

ケーキと一緒に、エスプレッソメニューもご用意しております！

笑顔がステキな神山さん

JR芦屋駅南側線路沿いにあった同店が、ビルの建て替えのため今年1月中旬から約2年間、すぐ近くの仮店舗で営業をスタート。

店名のLa Rucheとは、フランス語でみちばちの巣という意味。『お客様と花を中継できるみつばちの巣のような場所でありたいですね。』と店主の井谷さん。

▲ユーカリやアジサイなどのドライフラワーも充実。

お花を学びにアイルランドへ。外国人のお客様もウエルカムです。

▲壁飾りのスワッグが人気。ヨーロッパでは伝統的なクリスマス飾りの一つなんだそう。西洋では生命の象徴として魔除けの意味もあるとか。

そもそも「クネクネくつ下」の誕生は、5年前に芦屋の靴下工場、「稲坂莫大小（メリヤス）製造株式会社」さんに直接お邪魔した時から始まるんです。
歩いてすぐのところにありますので、見学に行きますか？
ぜひとも！

オーナー竹岡さん

店内は「クネクネくつ下」の他に自然素材の洋服、小物、革製品も揃う。革職人によるワークショップも不定期に開催中！
※詳しくはお問い合わせを

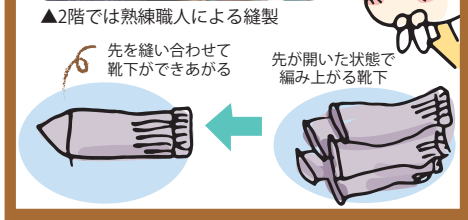
自然素材にこだわった糸で熟練の職人さんが丁寧に編み上げたオリジナルくつ下。その数、100種類！

▶くつ下の他にレッグウォーマーも人気（1500円＋税～）。オシャレを楽しむだけでなく冷え対策にもなる。

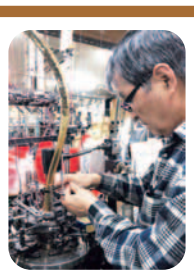
試着もできるので履き心地の良さを実感してみて！

▲2階では熟練職人による縫製

先っぽが縫われていきます…

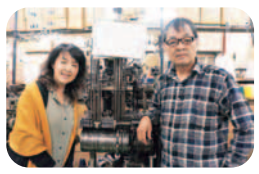


当初は自然素材を使った流行廃りがない心地よさを追求した靴下づくりからはじめました。社長や工場長は、素人の私の意図を汲み取って、試行錯誤を重ね小ロットから一つひとつ形にしてくださいました。ゴミ箱にあった靴下を拾いあげて相談したりもしましたね～



▲機械のクセを見極め、長年の技術と勘で編み上げる

コンピューター制御で大量生産の機械が主流な中、昔ながらの自動靴下編み機にこだわり続ける数少ない職人さん



名コンビの竹岡さんと中谷工場長

稲坂莫大小製造株式会社

「まちの埋蔵文化人」として新聞でも紹介された中谷工場長です

十五歳からこの道ひとすじ！

日本の伝統的なものづくりが見直されていますよね。毎年、社会見学として地域の小学生に一足の靴下ができあがるまでを見てもらっています。靴下編み機ではネジなどの消耗品が手に入らなくなっている昨今ですが、子どもたちに伝統を伝えていきたいのです。そして、これからも身体にやさしい、ぬくもりを感じる靴下を作り続けたいですね…。

どういう人がどのように関わって一足の靴下を作りあげているかもお伝えしたいので販売元へはお手紙も添えています。

こんなに靴下がていねいに一つひとつ作られているとは…

すっかり靴下への想いが変わった二人なのでした…。

店舗情報

mokono（モコノ）
芦屋市大桝町2-20
営/11時～18時　日曜のみ12時～17時
月・木曜定休
TEL.0797-57-0135
http://www.mokono.info/